

令和 7 年度

高根沢町教育委員会点検・評価報告書
(令和 6 年度対象)



令和 7 年 8 月

高根沢町教育委員会

目 次

1 はじめに	1
(1) 趣旨	
(2) 点検・評価の対象	
(3) 点検・評価の流れ	
2 教育委員会の活動状況	2
(1) 教育委員会会議の開催及び審議状況	
(2) 教育委員会会議の項目別事項	
(3) 教育委員会会議以外の活動状況	
3 点検・評価報告書	6
～学校教育課～	
基本目標 「未来を創る子どもたち」を育てる	
施策1 生きる力の育成	
① 確かな学力の育成（ICT教育・英語教育の推進）	
② 学ぶ意欲と自己肯定感・自己有用感の育成	
③ 健やかな体の育成	
施策2 安心して学習できる環境づくりの推進	
① 教育環境支援の充実	
② 安心・安全な学校づくり	
③ 地域とともにある学校づくり	
～生涯学習課～	
基本目標 「生涯学習・文化・スポーツ」を振興する	
施策1 身近で学べる生涯学習環境の充実	
施策2 文化・歴史を活用した郷土愛の醸成	
施策3 スポーツに親しむ機会と環境の創出	
施策4 女性が活躍する社会の実現と結婚活動の推進	
～こどもみらい課～	
基本目標 「安心して産み、子育てができるまち」をつくる	
施策1 安心して生み、子育てできる応援体制の充実	
施策2 子育て応援体制と情報発信力の強化	
施策3 幼児期教育・保育ニーズへの対応	
4 外部評価	28

1 はじめに

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自ら点検及び評価を行うこととされています。

高根沢町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会の施策全般について、点検・評価を行い、その結果をとりまとめました。

(2) 点検・評価の対象

令和6年度の主な実績を「町地域経営計画 2016（後期計画）」における基本目標・施策ごとに分類し、主な事業の実施状況を対象に点検・評価を行いました。

(3) 点検・評価の流れ

「点検・評価報告書」については、主な事業の「実施内容」に関する資料を所管課が作成しました。

点検・評価の客観性を確保するため、学識経験を有する第三者からの意見を聴取し項目別に点検・評価を行いました。

なお、評価方法は、「A」・「B」・「C」の三段階で評価を実施しています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律抜粋

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催及び審議状況

高根沢町教育委員会の会議は、毎月1回の「定例会」と、必要に応じて開催する「臨時会」があり、令和6年度は合計13回の会議を開催し、審議等を行いました。

期 日	会議の 種 類	付議案件等（●審議、□報告、◇協議事項、○その他）
R6. 4. 10	定例会	●学校規模適正化の検討について □高根沢町教育委員会教育長職務代理者の委嘱について □令和6年度高根沢町教育委員会事務局人事配置について □令和6年度高根沢町教育委員会事務事業の概要について □高根沢町英語検定料助成金交付要綱の制定について □令和5年度就学援助の取消しについて □こども家庭センターの新設について ○陳情について
R6. 5. 22	定例会	●高根沢町教育委員会点検・評価委員の委嘱について ●高根沢町立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ●学校規模適正化の検討について □令和5年度指定校変更許可及び区域外就学許可等の報告について □令和6年度就学援助の認定について □高根沢町教育委員会の学校訪問について □第三期高根沢町子ども・子育て支援事業計画の策定について ○教育委員会日程の変更について
R6. 6. 19	定例会	●高根沢町学校運営協議会委員の任命について ●高根沢町社会教育委員並びに高根沢町公民館運営審議会委員の委嘱について ●令和5年度高根沢町教育行政の主な実績について ●学校規模適正化の検討について □高根沢町中学校部活動大会交通費助成金交付要綱の制定について □公立保育園の統合に向けた今後の対応について
R6. 7. 30	定例会	●高根沢町教育支援委員会委員の委嘱について ●令和7年度使用教科用図書採択について ●学校規模適正化基本計画（案）の検討について □令和6年度 夏休み！たんたん探検隊事業について
R6. 8. 26	定例会	●学校規模適正化について □令和6年度高根沢町教育委員会点検・評価報告書について □就学援助の認定状況について（令和6年度第1回報告分） □高根沢町要保護児童対策地域協議会について ○令和6年度とちぎっ子学習状況調査及び全国学力・学習状況調査における高根沢町の結果について

期 日	会議の 種 類	付議案件等（●審議、□報告、○その他）
R6. 9. 18	定例会	☐ 令和6年度教育情報セキュリティ自己点検結果報告について ☐ 令和6年度 夏休み！たんたん探検隊について ☐ 令和6年度とちぎっ子学習状況調査及び全国学力・学習状況調査における高根沢町の結果について（経年推移）
R6. 10. 17	定例会	●高根沢町部活動地域移行推進委員の委嘱について ☐ 高根沢町立小規模特認校制度に関する要綱の一部改正について ☐ 令和6年度 hyper-QU の結果について ☐ 高根沢町における休日の中学校部活動の地域移行に関するアンケート分析結果について
R6. 11. 19	定例会	☐ 高根沢町通学路安全プログラムに基づく合同点検の実施結果について ☐ 令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査について
R6. 12. 17	定例会	●高根沢町立小中学校文書取扱規程の一部改正について ☐ 令和6年度松谷正光ドリム事業「夢見る授業」について ☐ 令和6年度第1回高根沢町部活動地域移行推進委員会について
R7. 1. 22	定例会	☐ 高根沢町学校給食費徴収規則の一部改正について ☐ 職員等の給食費の徴収の特例に関する規則の制定について ☐ 高根沢町学校給食費減免規則の一部改正について ☐ 高根沢町学校給食費減免相当額助成金交付要綱の一部改正について ☐ 令和7（2025）年度小規模特認校就学許可について ☐ 令和7年二十歳の集いについて
R7. 2. 19	定例会	●高根沢町教育大綱・教育振興基本計画の検討について ☐ 公立保育園集約に係るこれまでの経過について ☐ 令和6年度 hyper-QU（2回目）の結果について ☐ 就学援助の認定状況について（令和6年度第2回報告分） ☐ 教育上特別な支援を要する児童生徒の教育措置について ☐ 令和7（2025）年度小規模特認校就学許可について（追加分）
R7. 3. 10	臨時会	●教職員人事の内申について
R7. 3. 19	定例会	●高根沢町教育大綱・教育振興基本計画の検討について ☐ 高根沢町学校給食費徴収規則の一部改正について ☐ 高根沢町学校給食費徴収実施要綱の一部改正について ☐ 高根沢町学校給食費減免規則の一部改正について ☐ 高根沢町学校給食費減免相当額助成金交付要綱の一部改正について ☐ 高根沢町食育・地産地消推進行動計画について ☐ 第三期高根沢町子ども・子育て支援事業計画について ☐ hyper-QU の結果について（経年比較） ☐ 令和7年度教育委員会日程（案）・令和7年度小中学校主要行事一覧（仮）について

(2) 教育委員会会議の項目別事項

令和6年度に教育委員会会議にかけられた議案等を項目ごとに分類しました。

項 目	件数
① 町教育行政の運営に関する一般方針及び計画を定めること	8
② 教育委員会規則及び規程の制定又は改廃に関すること。	1
③ 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること。	
④ 教育機関の設置若しくは廃止又は位置若しくは名称の変更を行うこと。	
⑤ 教育委員会の組織又は職員の人事に関する基本方針を定めること。	
⑥ 県費負担教職員の人事に関する内申の基本方針を定めること。	1
⑦ 教育長、教育委員会事務局職員及び教育機関の職員の任免を行うこと。	
⑧ 町立小中学校長の人事について内申すること。	
⑨ 職員及び県費負担教職員の研修の基本方針を定めること。	
⑩ 教育委員会所管の附属機関の委員の委嘱若しくは解職又は任免を行うこと。	6
⑪ 職員の懲戒に関すること。	
⑫ 県費負担教職員の懲戒について内申すること。	
⑬ 通学区域の設定又は変更を行うこと。	
⑭ 教科用図書の採択を行うこと。	1
⑮ 教育委員会が当事者となる訴訟、不服申立てその他の争訟に関すること。	
⑯ 指定文化財の指定又はその解除を行うこと。	
報告事項	4 1
その他	7
合 計	6 5

(3) 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員会委員の教育委員会会議への出席以外の主な活動は次のとおりです。

期 日	内 容	場 所
R6. 4. 1	学校教職員辞令交付式	改善センター
R6. 4. 9	中学校入学式	町内中学校
R6. 4. 10	小学校入学式	町内小学校
R6. 5. 22	小山正夫文化スポーツ振興事業選考会	改善センター
R6. 6. 14	教育委員会勉強会（学校規模適正化）	改善センター
R6. 7. 20	総合教育会議（第1回）	改善センター
R6. 9. 18	小山正夫文化スポーツ振興基金運営委員会	改善センター
R6. 10. 17	総合教育会議（第2回）	改善センター
R6. 11. 19	学校訪問	東小学校
R6. 12. 17	学校訪問	にじいろ保育園
R7. 1. 22	学校訪問	阿久津中学校
R7. 1. 24	立志式・松谷正光ドリーム事業「夢見る授業」	町民ホール
R7. 2. 7	市町村教育委員会研究協議会（後期：第6回） 研究分科会（野中直子委員参加）	東京都千代田区
R7. 3. 10	中学校卒業式	町内中学校
R7. 3. 19	小学校卒業式	町内小学校
R7. 3. 31	教職員退職辞令交付式	改善センター

3 点検・評価報告書

基本目標 「未来を創る子どもたち」を育てる	
施策1 生きる力の育成	【学校教育課】
■確かな学力の育成（ICT 教育・英語教育の推進） 実施内容 ○ICT 教育の推進 ・小中一貫教育情報教育部会において、教員の ICT 指導力向上を目的とした研修等を実施しました。 ・学校を巡回する ICT 支援員が、教職員および児童生徒への授業中の補助に加え、タブレットの機能研修や効果的な活用方法の提案などを行いました。これを軸として、各校で実践されている ICT 活用の情報を町全体で共有することができました。 ・小学4～6年生向けに AI 英会話アプリ「マグナとふしぎの少女」等を導入し、英語専科の授業を中心とした英会話学習に活用することで、児童の学習意欲向上に効果をあげました。 ・発達や認知の特性に合わせて「読み・書き・読み取り」を学ぶことができる学習アプリ「まるぐランド」を導入し、小中一貫教育特別支援教育部会において特別支援コーディネーターを対象とした研修会を実施するなどして、特別支援学級における ICT 教材として活用を図りました。 ・小中学校教職員の校務用 PC 213 台を更新するとともに、校内の学習系と校務系のネットワークを統合し、クラウドサービスを活用したデータ連携が可能な環境を構築しました。これにより、学習系の授業資料を校務系端末で作成することができるようになるなど、利便性の向上が図られました。 ・校務系システムに、クラウド型情報共有プラットフォームとして Microsoft SharePoint（シェアポイント）を導入し、情報セキュリティリスクの改善を図るとともに、学校・教育委員会間および学校相互における情報共有の効率化を行いました。 ○英語教育の充実（ALT・JTE の活用） ・小学校では、学級担任と英語専科教員 2 名が中心となって授業を進め、JTE 2 名、ALT 2 名と連携を図りながら指導にあたりました。 ・中学校では、ALT 3 名が教材研究に熱心に取り組み、担任と連携しながらチームティーチングの授業を効果的に実施することができました。 ・小中一貫教育の一環として小学校で実施する「国際交流集会」「中学校教員の乗り入れ授業」は児童に大変好評で、事後アンケートでは「中学校の英語学習に対する不安がなくなった」と答えた児童が 90.7%にのぼりました。	

○学ぶ意欲を高める学習指導の充実

- ・「学力向上コーディネーター」、「学力向上推進リーダー」、「各校の学習指導主任」が、連携して学力調査問題の分析を行い、課題と成果を明確にした上で学力向上改善プランを作成し、PDCAサイクルを意識した取組が実施されました。
- ・経験の浅い教員等を対象に「授業改善等に向けた授業支援訪問」を実施し、授業参観と授業研究会を通して、教員の学習指導の向上を図りました。また、学力向上推進リーダーと情報交流を図り、年間を通して支援できる体制を作りました。

■学ぶ意欲と自己肯定感・自己有用感の育成

実施内容

○hyper-QU テストの活用

- ・よりよい人間関係づくりを目指して、学校生活の満足度を調査する「hyper-QU」を年2回実施しました。
- ・各学校では、調査結果の分析を行うための研修を実施しました。学級経営の改善や児童生徒の理解と関わり方について職員間で共通認識を図るとともに、対応策についても協議することができました。

○キャリア教育の推進

- ・「キャリア・パスポート」の計画的な蓄積が図られました。また、小学校6年生のキャリアインタレストテストや中学校2年生のマイチャレンジ事業等、発達段階に応じて系統的にキャリア教育を実施することができています。
- ・小学校5年生の「夢の教室」事業については、高根沢町に縁のある人や、地域に住む身近な人等を講師に迎え、講演会やワークショップを実施しました。

■健やかな体の育成

実施内容

○運動遊びプログラム

- ・体を動かす楽しさや心地よさを体感し、運動習慣の動機付けにつなげることを目的として、小学校1、2年生（年2回）と中学校1年生（年1回）を対象に計45回実施しました。
- ・年度末に各学校にアンケートを実施し、課題と成果をまとめました。「運動遊びプログラムを年間2回行ったが、回数が増やせると有難い」「運動が苦手な児童も楽しんだり、活躍できたりするような運動遊びをさらに教えていただきたい」など、事業内容について好意的な意見が大部分を占めました。

○食育・地産地消の推進

- ・地産地消の取組として、学校給食用食材のうち、野菜穀物類について町内産を積極的に使用しました。県教委調査における地場産物活用割合（金額ベース）は、97.29%で、県内1位でした。

（主な食材）【重量（kg）ベースでの町内産使用率は、57.6%】

【100%】 米、味噌、トマト、なめこ、舞茸、きくらげ、いちご、白菜、なす
春菊、古代米、ブルーベリー

【50%以上】ねぎ（76%）、玉ねぎ（94%）、にんじん（50%）、さつまいも（81%）

- ・5月に町内産「いちご」をふんだんに練り込んだ「いちごパン」を、9月に町内産「ブルーベリー」を練り込んだ「ブルーベリーパン」を給食に提供しました。
- ・町内産新米については、塩野谷農業協同組合や契約農家の協力をいただき、前年度より1か月前倒しして10月から給食に提供しました。また、令和6年度から、町内産学校給食米として「とちぎの星」と「コシヒカリ」を交互に給食に提供しました。
- ・高根沢ローカルグルメのPRとして「高根沢焼ちゃんぽん」を給食に提供しました。
- ・食物アレルギー等により、代替えやお弁当を持参している児童生徒も食べられる給食として、「ハートカレー」を7月・12月の年2回実施しました。
- ・「お弁当の日」を11月6日に実施し、親子でのお弁当作りを通して、食に関する関心を高めました。
- ・食育・地産地消に関心を持ってもらうため、「食育だより」を作成して児童生徒に配付しました。

外部評価	評定	特に良好であった内容	・ ICT 教育の推進 小学高学年の英会話学習に AI 英会話学習アプリ等を活用することで、児童の学習意欲の向上に効果をあげるなど、時代に即応した効果的な授業に取り組んでいることは素晴らしいことである。 また、ICT 支援員の配置、クラウドサービスの活用、セキュリティ対策などの充実に取り組むことで、教職員の校務事務等の効率化が図られた。 ・ 英語教育の充実（ALT・JTE の活用） 小中一貫教育の一環として小学校で実施する「国際交流集会」「中学校教諭の乗り入れ授業」は児童に大変好評で、事後のアンケートで中学校の英語学習に対する不安がなくなったと 9 割以上の児童が答えるなど、素晴らしい取組と思われる。 ・ 健やかな体の育成 本町の学校給食は、地場産物活用の割合が県内ナンバー 1 を続けている。育ち盛りの子どもたちが本町で採れた美味しい米や新鮮な野菜や果物の味を存分に味わえる本町の学校給食は、健やかな体を育成することはもとより、生産者への感謝の心や郷土を愛する心を育む効果も期待でき、高く評価したい。
		A その他意見	・ 全国学力・学習状況調査や、とちぎっ子学習状況調査では、タブレット PC 端末等を使用して試験を行う CBT 方式に移行しつつあるため、児童生徒のタブレット操作技術の習熟度等による不利益が生じないよう、各学校間・学級間における ICT 活用の格差の有無にもご配慮いただきたい。 ・ 英語指導では、英語専科教員、JTE、ALT 等がチームで指導していく中で、ALT の日本語の理解力によって指導に違いが生じられると思われる。充実した指導陣の配置をお願いしたい。

■教育環境支援の充実

実施内容

○特別支援教育の充実

- ・児童生徒が個々の可能性を最大限に伸ばし、自立して社会参加できる資質や能力を身に付けていくため、特別な支援を要する児童生徒の情報交換を密にし、保護者、関係機関、小中学校との協力体制を整え、指導・支援を行いました。小中一貫教育の特別支援教育部会においては、支援を要する小学校児童の中学校への引き継ぎを行って、切れ目のない指導・支援に努めました。
- ・特別な支援を要する児童生徒への対応として、各小学校に「個別の支援教室」を設置し、取り出しによる学習支援を行いました。また、特別支援学級を含む指導困難な状況が見られる学級に学校支援員を配置し、児童生徒指導及び特別支援教育の充実を図りました。
- ・北高根沢中学校では、特別支援学級入級生徒の増加に伴い、令和7年度からの知的障害特別支援学級新設に向けて準備を進めました。
- ・未就学児の就学については、幼稚園・保育園、町保健センター及び関係機関と連携し、保護者の心情に配慮しながら、早期からの教育相談を丁寧に進めました。

○教育相談支援・不登校支援の充実

- ・学校での支援、家庭での支援、町での支援、各種相談窓口などをまとめたリーフレット「学校に行きたくない時のガイドライン」を作成し、学校、保護者への周知・情報提供を図りました。
- ・教育相談支援として、町 SC 4 名と町 SSW 1 名を配置し、各学校の関係教職員と連絡を密にしながら、児童生徒や保護者の状況について情報を共有することができました。また、中学校区に配置された県 SC・県 SSW から、児童生徒支援並びに教職員への指導助言の機会を設けることができました。

◇令和6年度の相談件数

町 SC の相談件数 : 337 件 (学校教育課と小学校を兼務する SC 1 名)

町 SC の相談件数 : 1,072 件 (小学校勤務のみの SC 3 名の合計)

町 SSW の相談件数 : 66 件

- ・不登校対策では、フリースペースひよこの家において、様々な体験活動や教育相談活動を通して一人一人に応じた支援を実施しました。また、月に1回のケース会議を設けて町 SSW や指導主事と情報共有を密に図り、通級している児童生徒の成長や課題について協議することで、適切な支援につなげることができました。

◇令和7年3月時点の通級児童生徒数

中学生 13 名 (1 年生 3 名、2 年生 3 名、3 年生 7 名)

小学生 1 名 (6 年生 1 名)

- ・家庭訪問型学習支援事業「学びの出前教室」では、学習支援と併せて相談支援を行うことにより、ひきこもり傾向の児童生徒に寄り添った丁寧な支援を実施しました。

◇令和6年度の実績

対象児童生徒：12名

実施回数：延べ435回

○経済的に不安定な家庭に対する支援

- ・本町の就学援助は、平成27年度から、認定基準となる収入要件の倍率を生活保護基準の1.3倍から1.5倍に拡大し、受給範囲を広げるにより支援を充実させています。準要保護認定者は、平成28年度末から124件、109件（H29）、125件（H30）、134件（R1）、145件（R2）、133件（R3）、128件（R4）、144件（R5）、138件（R6）と推移しています。
- ・令和5年度から、就学援助の認定期間を「7月から翌年6月まで」に変更し、直近の収入実態を反映した認定を行っています。また、国の基準単価の改定に準じて就学援助費（小学校の新入生徒学用品費）の支給額の引き上げを行いました。（54,060円→57,060円）
- ・町独自の子育て支援として令和4年4月から開始した学校給食費の減免（減免額：小学校1,400円・中学校1,200円（月額））を継続して実施しました。さらに、物価高騰に伴って改定した給食費増額分（小学校2,200円・中学校3,300円（年額））を追加減免して保護者負担額を据え置き、児童生徒2,007名の保護者に対して、年間33,901,350円の減免を実施しました。また、合わせて、アレルギー等により学校給食を停止している場合等で減免対象にならない児童生徒24名の保護者に対して、減免相当分として308,000円の助成を実施しました。

■安心・安全な学校づくり

実施内容

○通学安全体制の整備

- ・交通安全指導については、小学校1年生を対象として「交通安全講話」を実施しました。（実施日：令和6年11月21日・25日、小学校5校：138名対象）
- ・小学校では、登校班での歩き方指導やスクールバスの乗降指導、教職員の下校班への付き添い、中学校では登下校時の教職員による立哨指導や巡回指導を行いました。
- ・交通指導員やスクールガード、青パト隊など地域の協力をいただきながら、児童が安全に登下校できるように見守りや声掛けを継続して行いました。
- ・「通学路安全プログラム」では、小中学校・地域安全課・都市整備課・さくら警察署・県矢板土木事務所等と連携して通学路の合同点検を実施し、通学路及び未就学児の集団移動経路の危険箇所について、停止線の引き直しや路肩のカラー舗装などの安全対策を図りました。（合同点検実施日：令和6年9月17日）

○学校教育施設の整備

- ・長寿命化計画に基づき、阿久津中学校校舎の長寿命化改修工事に伴う詳細設計業務を実施しました。（事業費 21,978 千円）
また、老朽化した施設や設備の修繕工事等を実施しました。（事業費 28,890 千円）
- ・熱中症対策として、阿久津中学校と北高根沢中学校の体育館に大型の冷風機を導入しました。（阿久津中学校新体育館 2 台、阿久津中学校旧体育館 1 台、北高根沢中学校体育館 2 台 計 5 台）（事業費 4,686 千円）

■地域とともにある学校づくり

実施内容

○コミュニティスクール「みんなの学校」の推進

- ・令和元年度に開始された、高根沢町版コミュニティスクール「みんなの学校」は、町内全ての小中学校において、学校運営協議会と学校支援地域本部の 2 つの組織を両輪とする連携体制により実践を進めています。令和 3 年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響等により、各学校における学校運営協議会の会議はそれぞれ 1 回程度の開催に留まり十分な活動を行うことができませんでしたが、令和 4 年度以降は、各校ごとに 3 回程度開催しています。

学校と地域の人々が学校の目標やビジョンを共有し、共に子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指すため、特に、学校・地域でどのような子どもたちを育てていくのか、何を目指していくのか、関係者が当事者意識をもちながら「熟議」ができるよう、場を設定しています。

- ・学校支援地域本部については、学校のニーズに応じた地域人材の活用や、学校支援ボランティアの充実が図れるよう各校で継続して取り組みました。

外部 評価	評価	特に良好であった内容	・ 特別支援教育の充実 小中一貫教育の特別支援教育部会においては支援を要する小学校児童の中学校への引継ぎを行い、切れ目のない指導支援に務めていることは素晴らしいことである。 また、特別支援学級を含む指導困難な状態が見られる学級に対し、学校支援員を配置し、児童生徒指導及び特別支援教育の充実を図っていることは高く評価できる。 ・ 教育相談支援・不登校支援の充実 不登校対策として「フリースペースひよこの家」において、長年にわたり様々な体験活動や教育相談活動等を通して、一人一人に応じた支援を続けて成果を上げていることに敬意を表したい。 また、引きこもり傾向の児童生徒に対し、家庭訪問型学習支援事業「学びの出前教室」を延べ435回も実施するなど、対象児童生徒に寄り添った、いわゆる「伴走型」の丁寧な支援を行っていることは素晴らしい取組であり、高く評価できる。 ・ 安心・安全な学校づくり 児童生徒が安全に登下校できるよう交通指導員やスクールガード、青パト隊など地域の方々の温かい見守りや声掛けを継続して実施していることはありがたいことであり敬意を表したい。
		A その他意見	・ 近年の異常気象に起因する熱中症への対策は、児童生徒の命に係わる重大かつ喫緊の課題である。本町では、その熱中症対策の一環として阿久津中学校及び北高根沢中学校の体育館に大型の冷風機を導入したことは、熱中症予防はもとより体育等の教育効果の面からも評価できる。 今後さらには、体育館へのエアコンの導入についても積極的・計画的な検討をお願いしたい。

基本目標 「生涯学習・文化・スポーツ」を振興する

施策1 身近で学べる生涯学習環境の充実

【生涯学習課】

■みんなで子どもを育てよう

実施内容

○青少年の健全育成

子どもたちへの体験活動・学びの場を提供する団体・個人を支援し、多種多様な体験・学びをできるようにしました。また、熱中症対策を講じながら、安全・安心な環境を整えて実施することができました。

◇「夏休み！たんたん探険隊」

講座数：43

参加人数：のべ488人

◇「夢見る授業」

日時：令和7年1月24日（金）10：00～11：30

会場：町民ホール

対象：町内中学校第2学年生徒 220人

その保護者 176人

講師：茂木 健一郎（脳科学者）

テーマ：「挑戦する脳～人生を輝かせるために」

◇「小山文化スポーツ振興事業」

小山正夫文化スポーツ賞

・スポーツ分野：1人（阿久津中学校1年）

・文化分野：1人（阿久津中学校1年）

支援団体数：5団体

・熱気球ふれあい事業（熱気球ふれあい事業実行委員会）

・わらべ歌、童謡ボランティア（高根沢町童謡をうたう会「いつでもLaLaLa」）

・高根沢町青少年武道大会（高根沢町青少年武道大会実行委員会）

・演劇で遊ぼう。（高根沢町に演劇の文化を作る会）

・あそび～のLABO（あそびのサークル あそび～の）

・なまず祭り（なまず祭り実行委員会）

◇「高根沢リーダースクラブ（中高生活動支援）」

構成員：29人（中学生12人、高校生17人）

活動数：定例会12回

研修会：4回（バルーンアート、レクリエーション、県、地区）

主催：2回（TLCふれあいタイム・バルーンアート）

◇「令和7年二十歳の集い」

日時：令和7年1月3日（金）式典11：00～12：00 会場：町民ホール

出席者：187人（阿中卒業者135人 北中卒業者52人 町外中学校卒業者0人）

○学校支援地域本部の推進

◇町内小中学校にて、学校支援地域本部の開催

◇町内各小中学校「地域コンシェルジュ」合計 21 人

◇「塩谷南那須地区地域コーディネーター養成研修兼地域コーディネーター交流会」

日時：令和 7 年 1 月 30 日（木）13：15～16：00

会場：さくら市氏家公民館

・町内地域コンシェルジュの方々が 2 人参加しました。

■共に学び、高めあおう

実施内容

○家庭教育の支援

オピニオンリーダーたかね会の活動支援を行いました。また、親学習プログラムを実施し、ワークを通して、「家庭教育についての不安感を取り除き、保護者同士の関りをつくる」という目標を達成することができました。

◇「親学習プログラムの実施」

令和 6 年度のテーマ：「わが子のよさを伝えよう～リフレーミングを活用して」

9/27（金）改善センター 参加者 7 人（第 1 回家庭教育に関する情報交換会）

10/18（金）改善センター 参加者 6 人（第 2 回家庭教育に関する情報交換会）

10/25（金）中央小・北小 参加者 31 人（親プログラム修了生 6 人）

11/11（月）東小・上高小 参加者 22 人（親プログラム修了生 5 人）

○ライフステージに応じた学びの支援

各年代のニーズに合った知識の習得や生きがいづくりをサポートするため、様々な学習内容を計画し、公民館講座等を開催しました。

◇「いきいき教室」

日時：6 月・9 月・12 月・2 月 10：00～11：30

会場：図書館中央館・改善センター・図書館仁井田分館（参加者：のべ 121 人）

◇「たかねざわサイエンス・ラボ」

日時：6 月・11 月・1 月・2 月 10：00～11：30

会場：改善センター・仁井田地区コミュニティセンター・トレーニングセンター
（参加者：のべ 61 人）

◇「みんなの学び場」

・デッサン教室

日時：7 月 23 日（火）13：00～15：30

場所：改善センター（参加者：8 人）

・安心安全スマホ教室（シニア向け）

日時：12 月・1 月 10：00～11：30

会場：改善センター（参加者：のべ 21 人）

◇「たんたんサタデースクール」

・たんたんクッキング！

日時：12月21日（土）10：00～13：00

会場：図書館中央館（参加者：小学生親子6組 12人）

○学びの情報発信

計画的に生涯学習情報誌「たかネット」や「たんたんだより」を発行したり、町HPや図書館のSNSにイベントを掲載したりするなど、様々な情報を発信することができました。

◇「たかネット」

発行部数：7,400部

配布方法：町内の新聞折込

◇「生涯学習情報誌たんたんだより」：年7回発行

◇広報たかねざわ：毎月掲載

◇町HP記事更新：135回

（生涯学習：74回、文化・施設：45回、スポーツ：16回）

◇町図書館のFacebook、Twitter、Instagram：随時

■図書館を利用して本に親しもう

実施内容

○図書館利用者の促進

『第二期 高根沢町子ども読書活動推進計画』を基に、町図書館、各学校、行政の役割を明確化して活動に取り組みました。また、町図書館では年間を通してサービスの向上を図るための研修を実施しました。

◇利用者：59,794人

※中央館：44,009人、仁井田：8,806人、上高：6,979人

○図書館情報センターの活用

図書館の事業を含む町全体の情報発信をHPにて適宜掲載しました。さらに、新たにFacebook、Twitter、InstagramなどのSNSを活用した情報発信を進めました。

■施設を活用してみんなで学ぼう

実施内容

○生涯学習・スポーツ施設の活用促進

生涯学習・スポーツ施設をスムーズにご利用いただくために、公共施設案内・予約システムを活用し、PCやスマートフォン等により、オンラインでの施設予約・利用状況が確認できる状況になっております。

◇利用者：151,422人（9,500回）

- ・社会教育施設、社会体育施設 12 施設分（町民ホール・陸上競技場など）の令和6年3月末までのデータ

○安心して安全な生涯学習・スポーツ施設の管理

生涯学習施設及びスポーツ施設等で、緊急改修が必要なものを常時確認し、計画的に改修、修繕、補修を実施しました。

◇工事名：高根沢町図書館（中央館）トイレ改修工事、図書館中央館エレベーター改修工事、宝積寺タウンセンター空調機更新工事、歴史民俗資料館事務室空調設備工事、宝積寺タウンセンターアコーディオンカーテン取替え工事、上高根沢図書館縦樋改修工事、図書館中央館トイレ改修工事その2、仁井田体育館廊下照明器具改修工事、図書館中央館エレベーター改修工事

外部評価	評定	特に良好であった内容	・ みんなで子どもを育てよう 青少年期に様々な体験活動を経験できることは、青少年の健全育成にとって大変有意義なことである。 本年度も体験活動や学びの場を提供する団体等を支援し、多種多様な体験や学びに数多くの子どもたちが参加できたことは素晴らしいことであり評価したい。 企画、情報発信、運営などよく考えられており、多岐にわたるニーズに応えられるよう、工夫して事業が実施されている。 ・ 図書館を利用して本に親しもう 県教委の調査によると、1か月に1冊も本を読まない子どもの割合を示す「不読率」が、県内の小中高校生のいずれも前年度より悪化しているという。「本を読む魅力が児童生徒に伝わっていない」と分析しており、社会全体で読書活動に取り組む環境づくりが重要と指摘している。 本町の図書館は、町民一人当たりの貸出冊数がここ数年県内トップ級の実績を維持しているが、今後は町内の各学校の図書館と連携して読書活動の推進にも取り組まれるよう期待したい。
		A その他意見	・ 図書館事業では、SNSを活用した情報発信に努めていくことと合わせて、例えば、ITに不慣れな町民でも電子図書を利用できるような「使い方の丁寧な案内」があるとよいのではないか。

■文化芸術に親しもう

実施内容

○地域文化活動の推進

町内で教室や体験学習などの文化活動をしている個人・団体が、作品展示や活動発表をする機会として文化祭（展示部門・発表部門・大会部門）を開催しました。

◇「第46回高根沢町文化祭」

開催日：11月3日（土）・4日（日・祝）

会 場：トレーニングセンター・改善センター・町民ホール

参加者：（作品展示）作品数 1,174 人 出展者数 879 人

（芸能発表）出場者数 162 人

（学校発表）出場者 69 人（小学生・中学生）

（大 会）出場者 31 人

○歴史民俗資料館の活用

高根沢町にゆかりのある芸術家や産業に係る企画展や、栃木県立博物館と連携した夏休み企画展など、年間 10 回の企画展及び 6 回のイベントや町民ホール自主事業を開催しました。

◇「歴史民俗資料館企画展」

開催数：10 回 全日本写真連盟「第 40 回日本の自然」入賞作品展・「泳げ！こいのぼり」・ガラス乾板に残された高根沢・夏休み企画展「昆虫王国～多様な昆虫たち～」・Honda Exhibition・木版画展・みんなの年賀状展・ひょうたんアート作品展・ひなまつり展・中学校卒業記念作品展

年間来館者数：11,741 人（昨年比：+607 人）

◇「歴史民俗資料館イベント」

開催数：6 回（縄文道場・ぼうじぼ作り体験教室・御料牧場見学会・本屋でコンサート・年賀状のための木版画教室・しめ縄教室）

参加者：合計 207 人

◇「町民ホール自主事業」

・菊池桃子講演会

開催日：9月1日（日） 中止（大型台風による）

・宝くじ文化公演～オーケストラで歌う青春ときめきラブソング～

出演者：相川七瀬・岡本真夜・沢田知可子・N響団友ポップスオーケストラ

入場者：764 人

■文化財を受け継いでいこう

実施内容

○文化財の保護活動

子どもたちに町の文化や歴史について理解を深めてもらい、文化財を社会科等の授業で活用できるよう、小学生にも分かりやすい表記で文化財を紹介する「子ども向けホームページ」を整備しました。

◇文化財の指定

件数：0 件

◇子ども向けホームページの整備・公開

- ・文化財の基本情報の整理
- ・県指定文化財のホームページ公開（6 件）
- ・町指定文化財のホームページ公開（46 件）

外部 評価	評価	特に良好であった内容	・地域文化の推進 第 45 回高根沢町文化祭は従来の展示部門や発表部門及び大会部門が開催されたが、今回は飲食ブースも設置されたことから会場周辺は活気とにぎわいがあった。特に発表部門に加え作品展示では、町民の素晴らしい作品が数多く展示され、多くの町民が鑑賞できたことは大変喜ばしいことである。 ・歴史民俗資料館の活用 歴史民俗資料館の企画展は、例年本町にゆかりのある芸術家や産業に関わる専門性の高い企画で毎年好評を博している。 本年度は特に夏休み企画展「昆虫王国～多様な昆虫たち～」、「中学校卒業記念作品展」、「ひょうたんアート作品展」等を開催するなどして、前年比 607 人増の 11,741 人余の来館者を数えたことは高く評価できる。
	A	その他意見	・町の文化財等について、子どもたちに受け継いでいくためには、小学生にも分かりやすい表記で文化財を紹介する「子ども向けホームページ」について、学校と連携し、“教科の中のどこでどのように活用できるものであるか”を位置付けていくことにより、更なる活用の推進が図られるのではないか。

■スポーツをやってみよう

実施内容

○スポーツ教室・講座の開催

◇町民の心身両面にわたる健康・体力の保持・増進を図るため、各種教室を開催しました。

- ・ペタンク教室 参加者 12 人 ・カローリング教室 参加者 12 人
- ・子どもペタンク教室 参加者 18 人 ・子どもカローリング教室 参加者 16 人
- ・ペタンク出前講座 開催 2 回 参加者合計 34 人

◇ラジオ体操普及事業

- ・「ラジオ体操講習会」

開催日：令和6年10月31日（水）

（一財）簡易保険加入者協会よりラジオ体操講師派遣 参加者：32人

- ・配布したチラシで30日間の取組記録ができるようにしました。
- ・「NIKO♡NIKO 健康ポイント事業」（20歳から64歳対象）及び元気あっぷポイント事業（65歳以上）の対象事業として、ラジオ体操記録提示、ウォーキング大会参加者へのポイント付与を行いました。

○スポーツイベントの開催

◇「いちご一会とちぎ国体記念大会」として以下の大会を開催しました。

- ・グラウンド・ゴルフ大会（町民広場）
開催日：令和6年5月14日（火） 参加者：59人
- ・ペタンク交流大会（麒麟運動場）
開催日：令和6年5月26日（土） 参加者：72人
- ・カローリング大会（麒麟体育館）
開催日：令和6年10月6日（日） 参加者：48人

◇体力づくりへの興味関心を高めるため、ウォーキング大会を開催しました。

- ・とちまるゴルフクラブ⇄鬼怒グリーンパーク（約5km）
開催日：令和6年5月19日（日） 参加者：65人
- ・道の駅たかねざわ 元気あっぷむら⇄太田方面（約7km）
開催日：令和6年10月12日（日） 参加者：62人
- ・道の駅たかねざわ 元気あっぷむら⇄大森果樹園（約11km）
開催日：令和6年11月24日（日） 参加者：63人

◇オンラインアプリを活用したスポーツイベントに参加しました。

「オクトーバー・ラン&ウォーク」

開催期間：10月1日～31日 参加者：150人

◇「第27回高根沢町スポーツ・レクリエーション大会」

開催日：令和6年9月21日（日）

交流大会（ソフトバレーボール・ショートテニス）

ニュースポーツ等の体験・体力測定 参加者：のべ287人

◇「第 52 回高根沢町元気あっぷハーフマラソン大会（日本陸連公認）兼長距離走大会」

開催日：令和 7 年 1 月 12 日（日）

参加者合計：1,772 人（ハーフマラソン大会：715 人、長距離走大会：1,057 人）

■スポーツで心身を鍛えよう

実施内容

○各種団体の支援

町内で活動する団体が主体的に活動及び運営できるよう支援し、町民のスポーツの競技力及び心身の向上と、指導者の資質の向上を図りました。

◇町スポーツ協会 部員人数 378 人

◇町スポーツ少年団 団員数 184 人、指導者数 35 人

◇総合型地域スポーツクラブ

・元気 UP スポーツクラブ 230 人 ・HOKUTO. S. C 45 人

外部評価	評価	特に良好であった内容	・第 52 回高根沢町元気あっぷハーフマラソン大会兼長距離走大会 本年度も青山学院大学及び東海大学の招待選手など町内外から 1,772 名の参加者を迎えて盛大に開催された。天候にも恵まれ、一点のミスもなく素晴らしい大会運営ができたことは高く評価したい。 なお、新庁舎建設の都合により今後 3 年間開催できなくなるが、今回の準備及び運営のノウハウを 4 年後の開催に円滑に継承できるように希望したい。
	A	その他意見	・ラジオ体操は文化でもあり効果も高いが、子どもたちがラジオ体操をする姿を見ることが少なくなっている現状からすると、普及に当たっては更なる工夫や取組が必要だと思われる。

■尊重し合い、支え合おう

実施内容

○男女共同参画の推進

男女共同参画と防災をテーマに講演会「みんなのつどい」を開催しました。公民館講座として「とも家事講座」を年4回実施し、女性が担うことの多い家事を男性が習得して分担することで、女性の就業促進へ繋げられるよう取り組みました。

◇「講演会（みんなのつどい）」

開催日：2月9日（日）14：00～15：30

会 場：改善センター

講 師：天寺 純香 氏（公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク常務理事）

参加者：59 人

◇「公民館講座 とも家事講座」

開催数：料理教室4回 参加者：30 人

■結婚について考えよう

実施内容

○婚活イベントの開催

町内在住、在勤の男性と県内外から募集した女性との出会いの場を提供し、結婚・定住・永住のきっかけをつくるため、婚活イベントを開催しました。

◇「たんたん婚たかねざわ」

開催日：10月12日（土）

会 場：道の駅たかねざわ元気あっぷむら

参加者：男性15人、女性14人（定員各15名程度）カップル成立数5組

外部評価	評定	特に良好であった内容	・婚活イベントの開催 我が国の人口は、ここ 14 年間連続して減少し、一部の大都市を除き全国的に人口減少が続いている。さらに、非婚化や晩婚化が顕著で人口減少は深刻な問題となっている。 そうした状況の中、本町では、結婚を希望する男女の出会いの場と機会を積極的に提供し、多くの参加者を得て幾組かのカップルが成立するなどの成果を上げてきている。 本年度、道の駅たかねざわ元気あっぷむらにおいて婚活イベント「たんたん婚たかねざわ」を開催し、5組のカップルが成立したことは素晴らしい成果であり評価したい。 今後についても継続して取り組んでいってほしい。
		A	・男女共同参画の推進では、「とも家事講座」として、男性が家事を習得して分担することにつなげていく取組を実施したが、これは女性の就業促進につながるだけでなく、男性側のためにもなる取組である。

基本目標 「安心して産み、子育てができるまち」をつくる

施策1 安心して産み、子育てできる応援体制の充実

【こどもみらい課】

■子育ての経済的負担の軽減

実施内容

○妊娠・出産の不安の解消

不妊治療を受けている方を対象に「不妊治療費助成」を、妊産婦を対象に「妊産婦医療費助成」を行っています。

(令和6年度不妊治療費助成 11 件、妊産婦医療費助成 1,437 件)

また、安心して出産・子育てができる環境を整備するために、妊娠した方・子どもを養育する方に「出産・子育て応援金」(妊娠5万円・出産5万円)を交付しています。

(令和6年度出産応援分 185 人・子育て応援分 193 人)

○子育て家庭等に対する各種給付及び助成事業

児童手当、遺児手当といった各種手当の給付と、こども医療費、ひとり親家庭医療費といった各種医療費の助成を行っています。

なお、児童手当については、国の制度改正に伴い所得制限を撤廃し、対象を中学生までから18歳までに拡大するほか給付額が増額となるなど大きく拡充されました。

○幼児教育・保育の無償化等

令和元年10月から幼稚園・保育所・認定こども園などを利用する3歳から5歳クラスの保育料は無償となりました。また、国基準で年収360万円未満相当世帯の子どもと全ての世帯の第3子以降の子どもについては、副食費(おかず・おやつ等)が減免となりました。

なお、高根沢町独自の子育て応援として、国や県基準の対象とならない世帯については、保護者の負担軽減のため副食費月額4,800円のうち1,800円を減免しました。

(町独自の減免人数 保育園・認定こども園 305 人、幼稚園 154 人)

外部評価	評価	特に良好であった内容	・子育ての経済的負担の軽減 少子化の時代にあって、本町では子育てにかかる経済的負担の軽減のため、各種の給付金及び助成事業を行っていることは素晴らしいことであり評価したい。 今後もニーズを捉えながら、縮小することなく継続して行ってほしい。
	A	その他意見	

■子育て支援に関する相談

実施内容

○こども家庭センターの運用

こどもみらい課と保健センターが連携しながら全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行うため、令和6年4月に「こども家庭センター」を開設しました。特に支援が必要な家庭に対して、関係機関と連携しながら子育て世代の方々の育児に関する不安や悩みに寄り添い相談にのれる体制を少しずつ整備することができました。

○ファミリー・サポート・センター事業

子育て支援センターれんげそうの参加者に積極的に呼びかけ、ファミリー・サポート・センターの会員数を増やすことができました。

(提供会員 28 名、利用会員 131 名、両方会員 13 名)

(利用実績：保育園終了後等の預かり 16 件、塾の送迎 129 件、外出時の預かり 1 件、計 146 件)

○出産・子育て支援オンライン化事業

子育て中の方々はSNS等による子育て支援情報を求めています。そこで、母子手帳アプリ「NIKOのNIKO 子育てアプリ」(母子モ)を活用し、各種健診や育児相談などのお知らせ通知や子どものフッ素塗布のオンライン予約のほか子育て支援の情報を積極的に発信することができました。

(現在のアプリ登録ユーザー数 795 人)

外部評価	評価	特に良好であった内容	・ 子育て支援に関する相談 町保健センターとの連携による「こども家庭センター」の開設は、子育て世代の方々の育児に関する不安や悩み等の軽減、解消に大いに役立つものと期待でき、評価したい。
	A	その他意見	

外部評価	評価	特に良好であった内容	・子育て支援サービスの充実 本町では、学童保育の利用を希望する保護者が増加傾向にある中で、各小学校の協力により空き教室を利用しながら円滑に学童保育が実施できていることは大変喜ばしいことである。
	A	その他意見	

4 外部評価

(1) 点検・評価委員

氏 名	役 職
菅 谷 薫	元教育委員会委員長
鈴 木 厚 子	元小学校長

(2) 聴取日等

令和7年8月8日（金） 場所：高根沢町教育委員会（仮庁舎）会議室

(3) 評価のまとめ

◇点検・評価報告書

学校教育課 【評価判定： A】
ア 特に良好であった内容 小学高学年の英会話学習に AI 英会話学習アプリ等を活用することで、児童の学習意欲の向上に効果をあげるなど、時代に即応した効果的な授業への取組は高く評価できる。
イ その他意見 近年の異常気象に起因する熱中症への対策は、重大かつ喫緊の課題であり、対策の一環として中学校の体育館に大型の冷風機を導入したことは評価できる。今後さらには、体育館へのエアコンの導入についても積極的・計画的な検討をお願いしたい。
生涯学習課 【評価判定： A】
ア 特に良好であった内容 青少年期に様々な体験活動を経験できることは、青少年の健全育成にとって大変有意義なことであり、体験活動や学びの場を提供する団体等を支援し、多種多様な体験や学びに数多くの子どもたちが参加できたことは高く評価できる。
イ その他意見 ラジオ体操は文化でもあり効果も高いが、子どもたちがラジオ体操をする姿を見ることが少なくなっている現状からすると、普及に当たっては更なる工夫や取組が必要だと思われる。
こどもみらい課 【評価判定： A】
ア 特に良好であった内容 町保健センターとの連携による「こども家庭センター」の開設は、子育て世代の方々の育児に関する不安や悩み等の軽減、解消に大いに役立つものと期待でき、評価したい。

【評価判定】 A：特に良好、B：概ね良好、C：改善を要する